



ペガサート

住宅・公益・商業施設が同居する 複合型再開発ビルがJ R静岡駅前誕生

静岡市内で、最も商業・事業が集積する中心市街地に、地下二階、地上二十一階の再開発ビルが完成しました。

三十年前、老朽化した木造建築物が密集していた街区に、再開発計画が浮上。以来、経済環境や社会情勢の変化などによる障害もありましたが、地域活性化を願う官民の粘り強い協力が結実しました。

ペガサートの低層部は、カフェやレストランなどの飲食店やレンタルビデオ店、資格試験の受験指導校などがテナントとして入居する、「メディア」「グルメバラエティー」「カルチャー」の3フロア。

四階から七階の中層階は、静岡市立御幸町図書館と同市産学交流センターからなる公益施設となつています。両施設共通の愛称は「ビネスト」。産学交流センターの主目的は、起業家や中小企業の支援、新しいビジネスの創造などのインキュベーター機能にあります。2フロアを占める図書館には英語・中国語・ポルトガル語の図書を備え、多言語サービ

スを提供。ビジネス情報も集積しており、

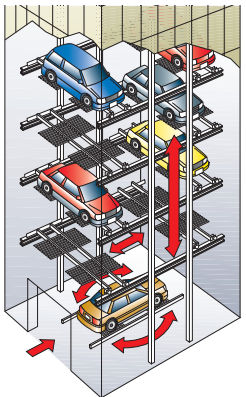
開館に際しては、『図書館のビジネス支援サービスとは』と題しての講演や『地方都市における産業支援・創業支援のあり方』についてのパネルディスカッションが盛況のうちに開催されました。

八階以上は、J R静岡駅や静岡鉄道新静岡駅などの交通機関をはじめ、ビジネス拠点、教育機関へのアクセス抜群の分譲マンションです。健康やホスピタリティに留意した設計による都市型住宅が、総戸数九十三戸の「マークス・サ・タワー静岡」です。

ペガサートの屋上にはヘリコプターのホバリングスペースが設けられ、都市中心街ならではの機動性と安全性を整備。その一方で、地下一階は江川町交差点地下道や新静岡センター地階に直結しているの、呉服町・追手町地区と交通ターミナルを結ぶ、安全で快適なアンダーグラウンドの歩行者空間が生まれました。これによって、地上空地部分も、歩行者

のためのゆったりとしたスペースを確保することができたのです。

かつての同地区は、小規模商業施設が密集し、防災面からも問題を指摘されてきました。見違えるような、多機能複合型官民同居の未来志向ビルの誕生までには、当初の再開発基本計画の策定から今日までの、三十年間の困難な歩みがあったのです。



エレベータ方式〈フォーク式〉ELパーキング

二基合わせて百二十八台 日本最大級の高収容タイプ

交通量の多い市の中心街に位置する複合施設では、使い勝手の良さとスピーディな人と車の往還が求められます。

ペガサートに納入されたELパーキングは、日本最大級七十メートルの高収容台数タイプ。ハイルフ車二十六台、普通車三十八台の六十四台収容のパーキングが二基（合計百二十八台）設置されています。

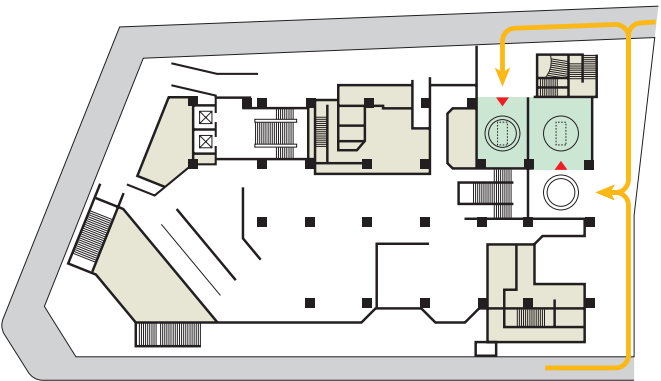
駐車時に待たされる時間をできる限り短くするため、運転工程の少ないフォーク方式を用いています。さらに、運転工

程の一つひとつでは、高速で無駄のない動きを追求。これまでの機種と比べ、徹底してロスタイムを省いた使いやすい機械式駐車設備を実現させました。

また、多種多様な自動車のサイズに因るため、軽自動車から大型ワンボックスカーまでの駐車が可能にした、バランスの良い駐車室を設置いたしました。

もちろん、毎日の入出庫時における安全性、騒音、振動にも配慮した設計を実現。部品を従来機種のものと同通化することで低コスト化が図られています。日精が誇る先進のメカニズムが、エレベータパーキングの新しい時代を開きました。

乗込ロスペース



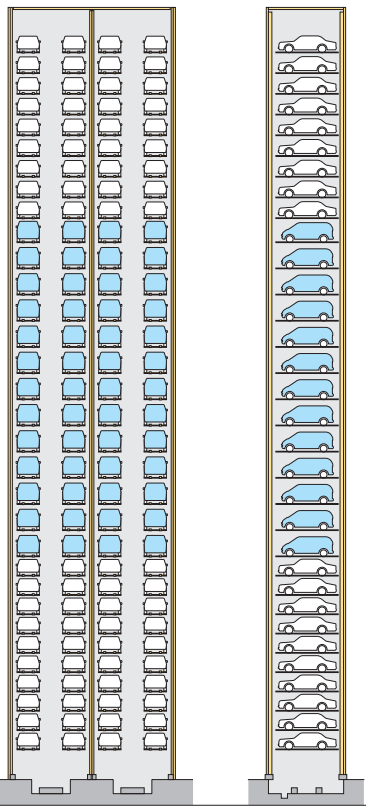
1F



都会的な印象のパーキング外観

駐車室断面図

ハイルフ車
普通乗用車



正面

側面



業務用車庫入り口（閉口時）



上層階の住宅居住者のための入出庫口



【建築概要・規模】 ●建築主／御幸町伝馬町第一地区市街地再開発組合 ●構造規模／地下2階、地上21階、塔屋2階 ●建築面積／約1,630㎡ ●延床面積／約24,000㎡ ●設計・監理／（株）アール・アイ・エー名古屋支社

●施工／大成・鈴与・静鉄共同企業体

【駐車設備概要】 ●機種／型式：ELパーキング（エレベータ方式高収容台数タイプ（フォーク式））／EL・ULST-64MX（38+26R） ●収容台数／合計128台（64台格納用2基）